

ターゲットバードゴルフ

【ターゲットバードゴルフについて】

昭和44年に狭い場所でもゴルフが楽しめるようにという思いから埼玉県で生まれました。ゴルフをミニ化した競技で、ゴルファーはもちろん初心者でもゴルフの楽しさを味わうことが出来る手軽なスポーツです。

また、本格的なゴルフスイングの爽快さとファッションレジャー的またアメニティスポーツとしての要素も含まれていることから、愛好者に好評を得て全国に広がりを見せている文部科学省指定生涯スポーツのひとつです。

【用具】※総数

ネットホール×10
セカンドホール×1
スイングマット×36
クラブ(PW)×30
(右利き用×29)
(左利き用×1)
ボール×68

1セット内容

ネットホール×9
セカンドホール×1
スイングマット×9
クラブ } 状況に応じて
ボール }

貸出総数 1セット



【詳細】

○コートセッティング

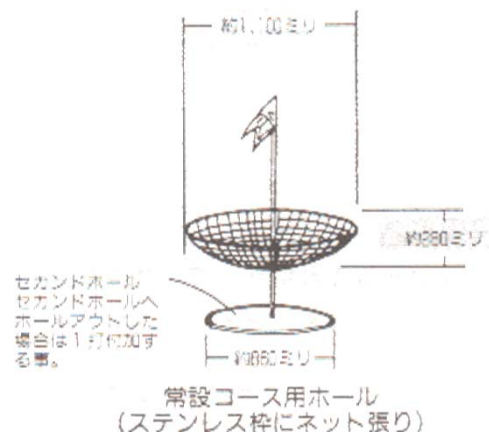
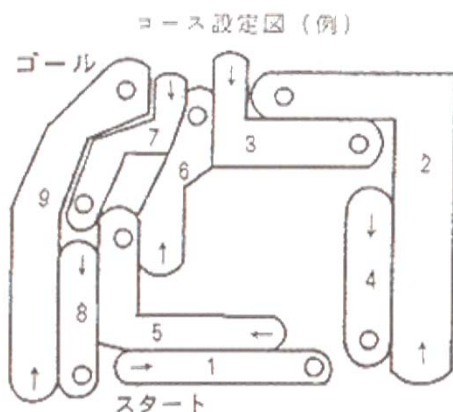
コースセッティング ※パー総数36 (パー3 : 2ホール、パー4 : 5ホール、パー5 : 2ホール)

パー3…30m~50m

パー4…45m~70m

パー5…60m~90m

コースレイアウト (例)



【ルール】

【ゲーム形式について】

○ストロークプレー マッチプレー

○ストロークプレー…全9ホールの総打数で勝敗を競う。

○マッチプレー…1ホール毎の打数で勝敗を競う。

【ゲームの進め方について】

- 順番はじゃんけん等で決める。
- 2打目以降はホールから最も遠いボールのプレイヤーからショットする。
- アドバンテージホール又はセカンドホールにボールが入ればそのホール終了となる。
- 2ホール目以降は、前のホールで1番打数が少なかった者からショットする。
- 同数だった場合は前ホールの順番に従う。

【判定について】

- ライン上にボールが停止した場合の判定
羽根を除く部分が半分以上内側に入っていた場合は有効とみなす。
- アドバンテージホールとセカンドホールについて
アドバンテージホールにボールが入った場合は、そのままの打数とする。
セカンドホールにボールが入った場合は、+1打追加する。
- コース外にボールが出た場合（OB：アウト・オブ・バウンス）
1打追加し、ホールに近づかないでOBラインよりクラブ1本分の位置にボールを置いて再開する。

【反則について】

- 空振りした場合は、1打とみなす。
- 押し出したり、かき寄せたり、すくいあげた場合は、2打追加する。
- スイング中に2回以上ボールがクラブに当たった場合は、当たった回数を打数に追加する。

【エチケットについて】

- 打つ前に周りに人がいないか確認する。
- 他の者がボールを打つ際、動いたり話かけたりしない。
- ホールアウトしたら、速やかにホール移動を行うこと。